



沖縄戦、敗戦から80年が経過しました。この間、米軍による占領、日本復帰など沖縄にとっては苦難の歴史の連続でした。

その住民の体験を民間人として、そして土地闘争の当事者として最も早期に写真記録を行った人物が伊江島の阿波根昌鴻(あはこんしょうこう)です。

阿波根は米軍による強制的土地接収に抗議する活動を展開するとともに、1955年4月から撮影を始め記録しました。その写真には破壊された家屋や避難した住民、土地闘争の生々しい様子が写し出されています。

阿波根の平和運動は「お互いに教え合い、譲り合い、助け合って共に生きる」ことでもあり、シマの人々の命と平穏な暮らしを守ることを目的としていました。彼の写真はその真摯な姿勢を示しており、半世紀以上経った今でも、人々の生き活きとした姿に感動を覚えます。

また、阿波根は戦争の悲惨さだけでなく「なぜ戦争が起きるか」を考えることの重要性を訴えています。

皆さんと阿波根の写真を共有し、戦争と平和について考え、「核も基地もない」世界を構築するためのメッセージを、沖縄から全国に発信していきます。



Photo Exhibition of

Shoko Ahagon



#### 沖縄県外 会場情報 (予定)

神奈川展 / 川崎市教育文化会館 7/5(土)~13(日)  
協力団体 | 沖縄民権の会、関東伊江島城会

北海道展 / 札幌市資料館 8/23(土)~31(日)  
協力団体 | 札幌阿波根昌鴻写真展実行委員会

広島展 / 広島県立美術館 9/30(火)~10/5(日)  
協力団体 | 広島阿波根昌鴻写真展実行委員会、広島沖縄県人会

福岡展 / 福岡アジア美術館 10/30(木)~11/4(火)  
協力団体 | 福岡阿波根昌鴻写真展実行委員会 (仮)

愛知展 / 名古屋市民ギャラリー矢田 2026. 3/11(水)~15(日)  
協力団体 | 阿波根昌鴻写真展愛知実行委員会

※各会場の詳細は別途告知します。